

平成18年度環境技術実証モデル事業検討会  
ヒートアイランド対策技術拡大ワーキンググループ会合  
議事要旨

1. 日時：平成19年2月7日（水）13:00～15:00
2. 場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）4階セミナー室
3. 議題
  - （1）環境技術実証モデル事業（ヒートアイランド対策技術分野）の概要について
  - （2）事業や対象技術への要望・意見
  - （3）実証によるメリット等の向上についての要望・意見
  - （4）その他
4. 出席検討員：佐土原聡（座長）、森川泰成、前川佳之  
意見者（実証機関）：財団法人建材試験センター（平成18年度実証機関）  
意見者（環境技術開発者）：株式会社ハンシン（平成16年度実証経験者）  
株式会社極東商会（平成16年度実証関係者）  
NI 帝人商事株式会社（平成18年度実証申請者）  
住友スリーエム株式会社（平成18年度実証申請者）
5. 配付資料
  - 資料1 環境技術実証モデル事業（ヒートアイランド対策技術分野）の概要について
  - 資料2 事業および対象技術分野に関する要望・意見資料
  - 参考資料1 環境技術実証モデル事業のご案内（パンフレット）
  - 参考資料2 ヒートアイランド対策技術（建築物外皮による空調負荷低減技術）  
実証試験要領
6. 議事

会議は公開で行われた。

  - （1）環境技術実証モデル事業（ヒートアイランド対策技術分野）の概要について  
事務局から資料1に基づき、本事業および本技術分野の概要について説明。
  - （2）事業や対象技術への要望・意見  
事務局から資料1に基づき、実証試験要領の概要を説明の後、意見者より、本事業および本技術分野に関する要望・意見を発表。主な要望・意見は下記の通り。
    - 実証試験の条件について、限定しすぎずに柔軟性を持たせてほしい。（空冷室外機）
    - 試験前の調整を十分に行うためにも、実証の期間を十分に取ってほしい。（空冷室外機）
    - 冬場における窓際の温度上昇を防止するなどの、室内環境の改善効果についても実証してほしい。（日射遮蔽フィルム）

- 実証に使用する数値計算の原理・条件などを公開し、統一的な実証方法を普及させてほしい。(日射遮蔽フィルム)

### (3) 実証によるメリット等の向上についての要望・意見

事務局から資料2に基づき、本事業および本技術分野に関する要望・意見の調査結果を説明の後、意見者より、実証によるメリット等の向上についての要望・意見を発表。主な要望・意見は下記の通り。

- ヒートアイランド対策効果のみではなく、地球温暖化防止効果(省エネルギー効果)を視野にいれた名称、実証内容としてほしい。
- より効果的な普及方策を検討するために、実証を実施したことによる導入促進効果やヒートアイランド対策への寄与等の追跡調査を行ってはどうか。
- 一般には「実証」についての理解が進んでいないため、事業の更なる普及促進を図るとともに、実証結果が広く周知されるための取り組みを積極的に行ってほしい。
- 様々な助成事業などと連携することで、実証済み技術の普及を促進してほしい。
- ユーザーが試験結果から効果を理解・判断できるように公表方法を分かりやすく工夫してほしい。

(文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)